

# 戦前の対馬採集品

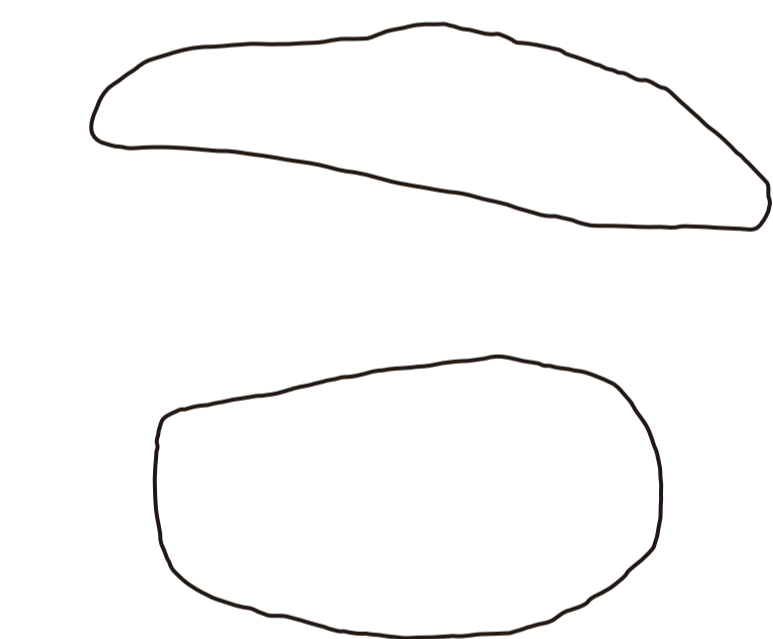
## 打製石斧



遺物実測図



遺物写真



### 資料の概要

- 資料名：打製石斧
- 所属時期：縄文時代中期～後期か
- 出土地：長崎県対馬市巖原町下原
- 出土年月日：昭和15年(1940)8月13日か

この打製石斧は安山岩製と見られ、全長 25.1 cm、幅 8.95 cm、最大厚 3.93 cmを測ります。資料の由来には不明確な点が多く、出土地点に関しては、遺物袋に記載されている

対馬 士富（居住路）道路傍小

という情報しか存在しません。「士富」は対馬の下島にあたる長崎県対馬市巖原町下原に所在する士富集落を指すものと推定されます。出土年月日に関しても、遺物や遺物袋には情報がなく、当館の収蔵遺物台帳の出土年月日項目に「400813」の文字が記されるのみです。

出土推定地周囲の埋蔵文化財情報は極めて少なく、わずかに縄文時代から古墳時代にかけての複合遺跡である下原遺跡の存在が知られます。山口大学にもたらされた経緯を含め、幅広い情報をお待ちしています。